

栃木県吹奏楽連盟〈季刊〉広報誌 2009年 10月号

吹奏太郎



目 次

- ★ 理事長 巻頭言 「来年に向けて」 1
栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚 武男
- ★ 1. 平成21年度 東関東吹奏楽連盟・指導者研修会兼栃木県吹奏楽連盟・指導者クリニック報告・・ 2
2009年（第40回）日本吹奏楽指導者クリニック・2009 Japan Band Clinic
栃木県吹奏楽連盟副理事長 研修部長 岩原 篤男（真岡高校）
- ★ 2. 第15回東関東バンド・セッション2009 東関東吹奏楽研修会・吹奏楽祭及び
第10回東関東選抜吹奏楽大会 6月13日（土）・14日（日） 報告
主催 東関東吹奏楽連盟 主管 千葉県吹奏楽連盟
会場 千葉県文化会館 大ホール
- 第10回東関東選抜吹奏楽大会に参加して 3
- 「第1回栃木県吹奏楽連盟 県南地区 アンサンブルコンテスト」報告
栃木県立宇都宮南高等学校吹奏楽部 顧問 西垣 徹
宇都宮市立星が丘中学校吹奏楽部 部長 清永 詩乃
- ★ 3. 平成21年度 「第15回東関東吹奏楽コンクール」 報告 3
主催 東関東吹奏楽連盟 会場 よこすか芸術劇場
(1) 9月5日（土）高等学校A部門 宇都宮北高等学校吹奏楽部 部長
(2) 9月6日（日）中学校A部門 宇都宮市立陽東中学校吹奏楽部 顧問 近藤円佳
(3) 東関東吹奏楽コンクール高等学校A部門を視察しての感想
栃木県立茂木高等学校吹奏楽部 顧問 大久保裕子
- ★ 4. 平成21年度 指導者実技研修会・指揮法講習会のお知らせ 5
栃木県吹奏楽連盟副理事長 研修部長 岩原 篤男（真岡高校）
- ★ 5. 講習会・クリニック情報 6
- ★ 6. コンサート情報 6
- ★ 編集後記 6
栃木県吹奏楽連盟副理事長 広報部長 三橋 英之（作新学院高校）



「来年に向けて」

栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚 武男

吹奏楽コンクールに出場された指導者の皆さん、大変ご苦労様でした。

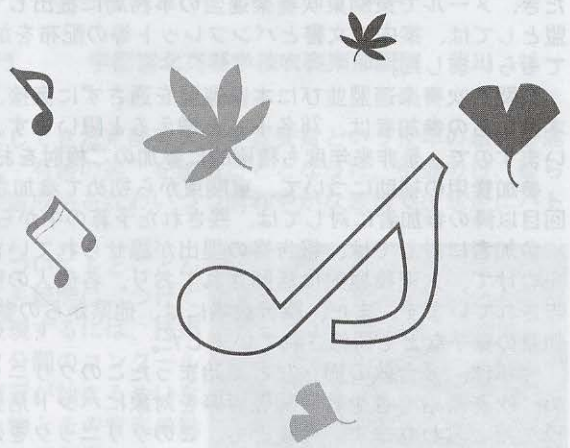
生徒共々厳しい練習をし、一所懸命努力されたことと思います。コンクールでの成績が自分で思っていた成績と多少違っていた点もあったかと思いますが、これを糧として、来年に向けて頑張りたいと思います。何が悪かったのか、指導方法を研究することが必要だと思えます。

上位成績をとるには、「響きあるサウンド」を作ることが一番大切であると一般的に言われています。それには、やはり1年かけてサウンド作りをしなければならぬことだと思えます。指導者は特に冬場の練習をどうするか、計画を立て、一つ一つ実行して行くことだと思えます。そして、生徒の個々の技術を高めることであり、それには専門の講師の手助けを得ることも必要かと思えます。

それと同時にご自分の音楽性、指導力、指揮棒の振り方を研鑽することも忘れてならないと思えます。今年度の「基本指揮法講習会」に参加するのも一考かも知れません。

いずれにしても、コンクールが近づいてきてから短期間に物事を行っても、薄っぺらな物事になってしまうと考えられますので、是非、長期的な計画と、日々の確実なる練習を成し遂げていくことが大切だと思えます。

しかしながら、コンクールだけの吹奏楽団（部活動）にしてしまうと、競技だけの音楽になってしまい、本来の音楽の楽しさや大切さを忘れてしまう危険性があります。是非、何らかの形で、演奏会、校内音楽会を開催したり、地域の催し物等に参加されて音楽を楽しんで欲しいと思えます。



1. 平成21年度

東関東吹奏楽連盟・指導者研修会兼栃木県吹奏楽連盟・指導者クリニック報告

2009年（第40回）日本吹奏楽指導者クリニック・2009 Japan Band Clinic

栃木県吹奏楽連盟副理事長 研修部長 岩原 篤男（真岡高校）

日時：平成21年5月15日（金）～17日（日）

場所：アクトシティ浜松 静岡県浜松市中区板屋町111-1

内容：小学校から一般・マーチングまで、管楽器活動の総合クリニックです。

具体的な講習の内容を紹介します。

「新譜リーディング講座Ⅰ・Ⅱ」

加養浩幸氏、後藤洋氏による解説でモデルバンド（大阪府淀川工科高校、ヤマハ吹奏楽団浜松）の演奏による2009年の話題作品を紹介。

「音楽料理法講座」

保科洋氏とモデルバンド（神奈川大学吹奏楽部）による音楽表現に関する音楽要素から「リズムの表現からアゴーグへ」など分析しながらの講習。

「指揮法講座」

山下一史氏による基礎から発展させる指揮法講座。

「初めての合奏指導法と楽器別講座」

初めて顧問としてどのように合奏すれば…から、各楽器の取り扱いや楽器別の奏法など、初めて吹奏楽の指導にかかわる先生やこれから指導者を目指す方々のための講座が盛りだくさんでした。フルートから金管楽器・打楽器そして初めてのマーチングなど。

「小学校指導者講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」

浜松プラスバンドによる金管バンドの新譜紹介とさまざまな場面で活用できる楽曲の紹介。

「公開リハーサル」

大阪府淀川工科高校・千葉県柏市立柏高校・秋田県秋田市立山王中学校など、オープニング・ウエルカム・アフタヌーン・イブニング・ファイナルコンサートなどへ出場する団体のリハーサル見学。

「ポップス講座」

サクソフォン奏者の織田浩司氏によるジャズやポップスのおしゃれな演奏を実演。楽しいステージの仕立て方など。

「マーチング講座」「ハーモニーディレクター講座」「パネルディスカッション」そしてCD・DVD・楽譜・楽器の展示や販売、音楽関係大学や専門学校、出版社や各種団体等のコーナー。

参加者：東関東吹奏楽連盟を通して、本県吹奏楽連盟からの参加者は、下記の通りでした。

栃木県 26名（茨城県 19名、千葉県 70名、神奈川県 28名、計 143名）

参加申込書について、今年度から東関東のホームページより申込書を直接個人でダウンロードしていただき、メールで東関東吹奏楽連盟の事務局に提出してもらう方法をとらせていただきました。県吹奏楽連盟としては、案内の文書とパンフレット等の配布を加盟団体に3月中・今年度の総会案内と同時に実施させてもらいました。

東関東吹奏楽連盟並びに本県連盟を通さずに直接、楽器店等から申し込みされた先生方もおりますので本県からの参加者は、26名＋αと増えると思います。来年度も、今年度と同じ方法をとることになると思いますので、是非来年度も積極的に参加のご検討をお願いします。

参加費用の補助について、東関東から初めて参加される参加者に対して講習費の補助を最優先に実施し、2回目以降の参加者に対しては、残された予算の中から補助を実施しました。

参加者に対しては、報告書の提出が課せられています。その報告から先生方がいろいろな講習会場に足をむけて、大変積極的に活動されており、各個人の悩みに対していろいろな情報収集をしていたことが報告されています。また、講習会場には、他県からの参加者との交流とともに意見交換なども盛んに行われ、他県の様子なども研修されていました。

今年は、「合歓の郷」などで始まったこのクリニックも第40回目を迎えました。学校音楽関係者をはじめ、吹奏楽指導者や教育関係者等を対象にバンド活動の方向性や提案などこれからもより充実するクリニックだと思われます。今後とも、このクリニックを活用し私たちの自己研鑽に結びつけられればと思います。

以上で、今年度の指導者講習会の報告とします。

★2. 「第1回栃木県吹奏楽連盟 県北地区 アンサンブルコンテスト」

第10回東関東選抜吹奏楽大会 6月13日(土)・14日(日) 報告

主催 東関東吹奏楽連盟 主管 千葉県吹奏楽連盟 会場 千葉県文化会館 大ホール

第10回東関東選抜吹奏楽大会に参加して

栃木県立宇都宮南高等学校吹奏楽部 顧問 西垣 徹

私たち宇都宮南高校吹奏楽部は、平成21年6月14日(日)に千葉県文化会館で開催されました第10回東関東選抜吹奏楽大会に参加しました。この大会は、東関東バンドセッションと併せて開催されている行事で、小・中・高各部門より推薦をいただいた団体が参加しています。今年栃木県からは那須塩原市立南小学校、宇都宮市立星が丘中学校、そして宇都宮南高校の3校が代表として参加しました。

宇都宮南高校は、鈴木英史先生に今年度委嘱した「セルゲイ・モンタージュ」と「プラス・フィーバー」の2曲を演奏しました。残念ながら銅賞という結果でしたが、東関東の中で演奏ができ、生徒たちも含めて大きな経験をさせていただきました。



第10回東関東選抜吹奏楽大会に参加して

宇都宮市立星が丘中学校吹奏楽部 部長 清永 詩乃

私たち星が丘中学校は、今年6月に行われた東関東選抜吹奏楽大会に栃木県代表として推薦していただき出場する機会を与えていただきました。私たちがそのことを初めて聞いたときは、とても重い責任を感じ不安でいっぱいでしたが、大会が近づくにつれ大会に対する期待のほうが大きくなり「絶対に成功させよう」という気持ちで部員がひとつになりました。

そして、私たちは練習の成果を発揮し、自分たちなりの精一杯の演奏で無事に本番を終えられました。部員全員でその舞台を大いに楽しんで演奏できました。

皆で演奏を楽しめ、さらに他校の素晴らしい演奏でも楽しめ、本当に楽しい一日を過ごさせていただただけでとても良い体験をさせていただいた私たちですが、光栄なことに1年生たちの初々しいYOSAKOIソーランの踊りが楽しんでいただけ、「バンドジャーナル賞」をいただくこともできました。私たちはこの賞をいただいたことにより、自分たちの演奏が認めただけたことを実感し、改めてみんなで喜びあうことができました。また、この賞は次の活動につながる大きな自信となり、本当に貴重な体験をさせていただけたと感謝しています。

これからの私の人生の中で、この体験は一生忘れられないものとなるに違いありません。本当にありがとうございました。



★3. 平成21年度 「第15回東関東吹奏楽コンクール」 報告

主催 東関東吹奏楽連盟 会場 よこすか芸術劇場

(1) 9月5日(土) 高等学校A部門

宇都宮北高等学校吹奏楽部顧問 菊川 祐一

「トスカ」に魅せられて

2009年夏、今年の吹奏楽コンクールは、目標にしてきた東関東大会金賞受賞という長年の想いを達成し、この大会で引退する3年生にとっては、まさに“有終の美”を飾ることとなった。引退の日、彼らはこみ上げてくる3年間の思い出に涙し、そしてその達成感を味わいつつ晴れやかな表情で後輩達にバトンを渡した。

振り返ってみると、今年の3年生は自由曲の選曲についてもとことん話し合い、「トスカ」を演奏したいという強い気持ちを顧問にぶつけてきた。しかし、プッチーニのドラマチックな音楽を表現するには、技術的にも音楽的にも難しい！まして課題曲を含めて12分間のコンクールとなると・・・。だが、諦めてはいけな。やがて練習が始まるやいなや、部員達はアツという間に歌劇「トスカ」の登場人物とその音楽の魅力に惹かれていった。そして、オペラハウス「横須賀芸術劇場」でこの「トスカ」を奏でたい、という明確な目標を掲げたのである。



夏休み後半は、課外授業後の練習でも集中力を欠かさず、県大会での反省を生かして、一途にサウンドを練り上げていった。まるで、信念のもとに自分の愛を貫いたヒロイン「トスカ」のように・・・。
大会が終わって部長は言った。「この結果は、部員80人全員と周りのいろいろな方面からサポートして下さった皆さんのおかげなんです。」

「そう、諦めずに努力を続けていれば、いつかチャンスが巡って来るんだよ。そのチャンスを掴むためには、素直な気持ちで日々精進していかなくちゃ。」

また少し、音楽を通して生徒との絆が深まった喜びを感じている。ふと見上げれば、そこにはイタリアへと続く青い空と太陽があった。

(2) 9月6日(日) 中学校A部門

宇都宮市立陽東中学校吹奏楽部

顧問 近藤円佳

「最高の笑顔を～響け陽東サウンド～」

これは、部員みんなで決めた今年のスローガンです。私たちにしかない陽東中吹奏楽部のサウンドを作りだし、聴いてくださる方の心に響かせ笑顔でいっぱいさせたい、また演奏を終えた私たちも笑顔になれるように、そんな思いで『一心奏愛』スタートしました。本校は5年連続、県代表として東関東大会に出場させていただいていますが、関東の舞台はレベルが高く、初心者のわずか4ヶ月足らずの一年生も含め、部員全員でステージに登る我が校は大きなハンディがあります。それでも、年々着実に力をつけてきているという実感はありましたが、昨年の千葉大会において百パーセントの力を出し切れずに終わった苦い経験をしたことが、三年生にとって、特に顧問の私自身にとって、今年の大きな飛躍につながったと思います。

「今年は、全国大会出場に一歩でも近づきたい。」「全国大会のステージで演奏したい。」その気持ちは次第に熱くなり、そのためにはどうしたらいいか、これまでと同じでは結果が変わらない、どこを改善できるか一つひとつを考え実行に移していきました。基礎練習の徹底や、係・役割の強化、曲のイメージ作りの共有化などを特に見直していきました。

今年の自由曲として選んだ曲は、天野正道作曲の「瑜伽行中観～吾妻鏡異聞」でした。子どもたちは、心の中に描くものはあるのに、なかなかはっきりと音にあらわれず、そのためにイメージ作りを何度も行いました。時には、部屋を暗くしロウソクの明かりの中練習したり、個々の物語を考え合ったり、お寺で座禅を体験する機会を持って曲作りに生かしてきました。課題曲「青空と太陽」に関しても、同様に物語性を作ったり、夏の暑さの中、学校のシンボルであるイチヨウの木の下、青空と太陽のもとで練習を行ったりしました。

吸収力の高い子どもたちだからこそ、演奏のプラスになることは何でもチャレンジし、できる限りのことをしてあげたいと思い取り組んできました。このように子どもたちの地道な努力はもちろんですが、講師の先生方をはじめ、関係の方々のお力、保護者の方々の協力、学校側の理解があって、今回の結果があるのだと実感しています。

いただいたこの勲章を胸に、三年生には今後も音楽を愛し続けてほしい、残された二十五名の一、二年生には、先輩たちからの教えを受け継ぎ、来年度はぜひ私たちの目標である全国大会出場を実現させるために、さらに精進していきたく思います。



(3) 東関東吹奏楽コンクール(高校A部門)を聴きに…

栃木県立茂木高等学校吹奏楽部

顧問 大久保裕子

9月5日土曜日、神奈川県よこすか芸術劇場で行われた第15回東関東吹奏楽コンクール高校A部門を聴きに行きました。昨年は、高校B部門で演奏させていただいたホールなので、懐かしくもあり、ま

た1年とはこんなにも早いものかと感慨深く会場に入りました。(今年は東関東大会で演奏できない結果になり残念という思いも胸に…。)

会場は朝からほぼ満席、さすが高Aです。私は前半の1番から後半の24番まで(つまり全部)を聴いたのですが、聞き応えのある演奏が非常に多く、この中から全日本へ出場できるのが3校だけというのは非常にもったいない、機会があれば他支部の大会を聴きに行き比較してみたいと思いました。また、課題曲の難しさを感じました。高A部門では課題曲すべて(I~V)を聴くことができましたが、これが簡単だからこそ難しいということなのかと思われました。(しかしながら9月20日に行われた東関東大会大学部門での神奈川大学の課題曲Vの演奏には驚かされました!もちろん自由曲もすばしかったです。)さて、栃木県代表のバンドですが、3校とも熱演で私にとっては心が熱くなる演奏でした。是非来年は栃木のバンドが東関東の代表になってほしいと心から願いました。前半の部、吹奏楽マニア的な2人組が私の隣に座っておりオリジナルの採点表に審査員のように得点をつけていました。ちょっとだけ垣間見た採点表…S高、K高、高得点でした。

長時間コンクールを聴いてみて私が心惹かれたのはサウンドの美しいバンドでした。質の良いサウンドを求め日々音作りをしていきたいと思いました。また、実際に会場に足を運び、身体全部で聴くこと(肌で感じることも)も大切だと思いました。音はもちろん、入退場、表情、雰囲気、指揮者…等、演奏者と同じ空間の中にいるからこそわかることがたくさんあり、学ぶことも多く、よい刺激になりました。そして、自分もまた頑張らねば…という決意を胸に会場を後にしました。

★ 4. 平成21年度 指導者実技研修会・指揮法講習会のお知らせ

栃木県吹奏楽連盟副理事長 研修部長 岩原 篤男(真岡高校)

(1) 日時・日程 **平成21年11月23日(祝・月)**

9:30 受付

9:50 開会・講師紹介 諸連絡

10:00 指揮法講習 I 基本から表現法へ<ピアノ伴奏付き>

12:00 昼食

13:00 指揮法講習 II 応用・実習 <ピアノ伴奏付き>

16:00 閉会

(2) 内容 テーマ ~ 明日から誰でも振れる指揮 ~

吹奏楽指導者の合奏指揮における基本的な指揮の方法や応用など実際にピアノ伴奏を前に、講師による個別指導を受講します。

基本から応用へ、明日には生徒の前にレベルアップしたご自身を見せられます。

前年度使用教材は Schbert「即興曲第3番」 Werner「野バラ」 Bizet Carmen Preludo
Chopin Marche Funebre Harline「星に願いを」 Mascani Nr 10 Intermezzo Sinfonico
Sibelius Finlandia 今年度の使用教材等については、後日ご案内致します。

(3) 会場 宇都宮市文化会館 第一練習室

(4) 主催 社団法人 日本吹奏楽指導者協会(JBA)

(5) 主管 社団法人 日本吹奏楽指導者協会(JBA) 関東甲信越支部

(6) 共催 栃木県吹奏楽連盟

(7) 講師 **紙谷 一 衛** (予定)

プロフィール 15歳から齋藤秀雄氏に指揮法を学び、19歳の時に東京フィルハーモニー交響楽団を指揮してデビュー。桐朋学園大学・東京音楽大学で教鞭をとり多数の有能な指揮者を輩出する。指揮活動は国内の演奏会にとどまらず、ドイツ・イギリス・フランス・ロシア・アメリカでも絶賛を浴びた。郵政中央吹奏楽団を現在まで40数年にわたり指揮している。現在日本吹奏楽指導者協会東京部会長を努める。

※ ピアノ伴奏者 永野 理佳

(8) 持参品 指揮棒 筆記用具 譜面台

(9) 募集人員 約30名(定員になり次第締め切らせて頂きます。)

(10) 費用 **一人あたり受講料 3,000円** (当日受付にて納入)

(11) 申込・問合せ 栃木県吹奏楽連盟事務局 Tel・Fax 028-632-7978

★ 5. 講習会・クリニック情報

- ①エリック宮城バンド（EMB）コンサートとクリニック 宇都宮市文化会館大ホール
平成22年1月10日（土）コンサート
11日（日）クリニック EMBメンバーによるクリニック 詳細は後日発表
- ②栃木県リーダー講習会
平成22年3月20日（土）・21日（日）
モデルバンド 埼玉栄高等学校吹奏楽部 指導 大滝 実 氏
パート別講師 内山 洋（クラリネット） 久保 義一（トランペット） 平子 久江（バサッソ）
他サクソフォーン・ユーフォニアム・チューバなどで人選中
小学校バンド講師 未定 詳細は後日発表

★ 6. コンサート情報

作新学院吹奏楽部 第44回定期演奏会（1日目）

平成21年11月22日（日） 17時開演 宇都宮市文化会館大ホール
入場料 2日間通し券 大人 ¥1500- 高校生以下 ¥800-
11/22分 前売り・大人¥800- 高校生以下¥500- 当日券は各¥200-増
11/23分 前売り・大人¥800- 高校生以下¥500- 当日券は各¥200-増
演奏曲目 関下の桜樹～吹奏楽のための・2009ニュー・サウズ・イン・ブラスより・ステージ・ドリーム他
問い合わせ先 吹奏楽部090-3318-6826 平日16時～19時 休日9時～19時

作新学院吹奏楽部 第44回定期演奏会（2日目）

平成21年11月23日（祝・月） 15時開演 宇都宮市文化会館大ホール
入場料・1日目と同じ
演奏曲目 ほとんどの曲が1日目とは異なる作品です

宇都宮市立緑ヶ丘小学校吹奏楽部 「メモリー・コンサート 2009」

平成21年12月20日（日） 13時開演 緑ヶ丘小学校体育館 入場無料
演奏曲目「ウェールズの歌」序曲・お祭りマンボ・和太鼓とバンドのための「狂詩曲」他

宇都宮市立姿川第一小学校吹奏楽部「ニューイヤー・ドリーム・コンサート」

平成22年1月16日（土） 13時30分開演 宇都宮市文化会館小ホール 入場無料
演奏曲目「吹奏楽のためのロス・ロイ」・お祭りマンボ・ドラゴン クエスト メドレー他

編集後記

早いもので平成21年度のおよそ半分の時間が経過しました。コンクールも東日本学校吹奏楽コンクールと全日本吹奏楽コンクールを残すのみとなりました。

さて、「今年こそ」日々の練習を頑張ってきましたか？

それぞれの結果はともかくとして、目標を掲げた内のどれくらいのことが達成できたでしょうか？

活動の結果として、部員達の成長の跡はうかがえたでしょうか？

コンクールに出場しなかった団体についても、活動の喜びが感じられるような充実した活動が展開できていたでしょうか？

平成21年度の折り返し地点を通過したのを良い機会に活動の再点検をしてみたいかがでしょうか。ちょうどこの時期になると、最上級生が引退し、世代交代する団体も多いはずですが、冷静に見つめ直して、次なるステップにパワーアップしていきませんか。

ところで、筆者の団体のコンクールの結果は決して満足のいくものではありませんでした。結果発表後には部員達も悔し涙を流していました。しかしながら、結果がすべてではありません。これまで半年間の随所に活動の成果は見られました。自分たちの役割を良く理解し、各々が十分に責任を果たしました。苦しいことや辛いことの方が多かったはずですが、互いに支え合い、励まし合い、好ましい方向に進んでいたと思います。

それでも、やはり結果は大事なのです（とはいっても、求められる結果はそれぞれの団体の事情によって多少異なりますが・・・）。なぜなら、同じメンバーで大会に臨めるのはその年度限りです。特に最上級生にとっては最後のコンクールです。できれば結果が伴った方がよいんだと思います。指導者はもっとしっかり指導しろといわれても仕方がありません。運営面やパート練習など生徒達でできることは任せたとしても、いかにしたら聴衆（審査員にも）の心に響く演奏ができるのか最終的な音楽作りは顧問の仕事です。まだまだだなあと痛感したわけです。また、思い通りに良い結果を得られた団体も、どうして良い結果が得られたのかを点検しておかないといけなんでしょう。結果の如何に関わらず、その年度の検証をしっかりとして次に進むことが大切なのではないでしょうか。

年度の後半はアンサンブルコンテスト、ソロコンテスト、リーダー講習会が開催されます。いわば、次年度の準備の期間ということになります。合奏する以前に重要な個人練習、パート練習、セクション練習などの質を高めたり、練習のノウハウを学び、よりよい音楽作りの下地を作る期間です。自分自身を含めて指導者の皆さんにどうか頑張ってくださいとエールを送りたいと思います。

また、各団体で定期演奏会が目白押しです。この機会に他の団体の演奏を聞き、刺激を受けるのも良いでしょう。そして、合同練習会などで互いに高めあうイベントも子どもたちのためにどんどん企画してあげてください。

広報部長 三橋英之（作新学院高校）